

科目名	スポーツ実習 1						年度	2025	
英語科目名	Sports 1						学期	後期	
学科・学年	情報処理科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	菊池、澗川、木下		教員の実務経験	無	実務経験の職種				

【科目の目的】

生涯にわたって運動やスポーツに親しむために必要な素養や、健康・安全に生きるための身体能力や知識を身に付けることを目的とします。また、自己管理能力の育成や集団生活の体験を通じて、ルールやマナーの学習、コミュニケーション能力の培養を図ります。

【科目の概要】

スキー・スノーボード合宿を実施します。初めに、スキー・スノーボードスクールで自分の習熟度に合わせたレッスンを受け、その後、自由滑走を通じてレッスンで習った滑走技術を実践し、技術の習熟に努めます。また、合宿を通じて集団生活を送り、学科や学年、クラスを超えた交流を図ることで、集団行動におけるルールやマナーの学習、コミュニケーション能力の向上を目指します。

【到達目標】

スキー・スノーボードスクールでの滑走技術の習得
自由滑走での滑走技術の習熟
集団生活でのルール・マナーの学習

【授業の注意点】

各自、自己のスキルに合ったスキー・スノーボードスクールのコースを事前に選択することが求められます。コース選択時には無理のないコースを選び、各コースのインストラクターの指示のもと、安全な滑走に努めることが重要です。自由滑走時には必ず数名のグループで行動し、単独行動をしないようにしてください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価			レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	—	—	スクールに参加して滑走技術の習得に取り組んだ。	—	スクールに参加して滑走技術の習得に取り組まなかった。
到達目標 B	—	—	自由滑走で滑走技術の習熟に努めた。	—	自由滑走で滑走技術の習熟に努めなかった。
到達目標 C	—	—	集団生活ではルール・マナーを守り生活を送った。	—	集団生活ではルール・マナーを守れなかった。

【教科書】

なし

【参考資料】

スキー・スノーボード実習のしおり

【成績の評価方法・評価基準】

スキー・スノーボードスクールへの参加、自習滑走への参加、集団生活での生活態度、そしてまとめアンケートの結果を基に評価を行います。これにより、各自の取り組みや姿勢が総合的に判断されます。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		スポーツ実習 1			年度	2025
英語表記		Sports 1			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前説明 オリエンテーション	実習内容、共同生活、 注意事項などを確認する	1 実習内容	スケジュールを含めた実習内容の理解	2	
			2 共同生活	共同生活を送るためのルール・マナーの理解		
			3 注意事項確認	実習全般の注意事項の理解		
2	スキー・スノーボード スクール	スキー・スノーボード 初心者に向けた	1 滑走技術	自身のレベルに合わせた滑走技術を習得	2	
3						
4						
5	自由滑走(1)	スクールで学んだ滑走 技術を習熟する	1 滑走技術の習熟	スクールで学んだ滑走技術	2	
6						
7	自由滑走(2)	スクールで学んだ滑走 技術を習熟する	1 滑走技術の習熟	スクールで学んだ滑走技術	2	
8						
9	自由滑走(3)	スクールで学んだ滑走 技術を習熟する	1 滑走技術の習熟	スクールで学んだ滑走技術	2	
10						
11	自由滑走(4)	スクールで学んだ滑走 技術を習熟する	1 滑走技術の習熟	スクールで学んだ滑走技術	2	
12						
13	自由滑走(5)	スクールで学んだ滑走 技術を習熟する	1 滑走技術の習熟	スクールで学んだ滑走技術	2	
14						
15	まとめ	実習の振り返り	1 アンケート	実習を通じて得た学びを確認	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等